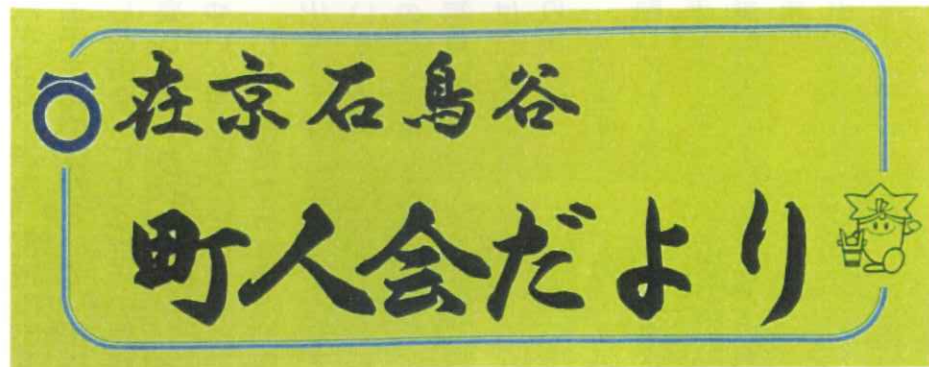


在京石鳥谷町人会だより

連絡所

在京花巻ふるさと会事務所内
〒111-0053 東京都台東区浅草橋
2-29-15 須賀ビル 2 階
TEL 03-5829-4940
FAX 03-5833-4266
事務局 〒187-0031 東京都小平
市小川東町 1817-39 大竹雅夫方
TEL : FAX 042-332-3025



(題字 旧石鳥谷町長 高橋 公男 氏)

ごあいさつ



在京石鳥谷町人会
会長 高橋 弘美

会員の皆さま、こんにちは。高橋弘美でございます。

皆様におかれましては、お健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

平成 27 年の初回の「町人会だより」を皆様にお届けするにあたり、まずは昨年中に皆さまから在京石鳥谷町人会に寄せられたご支援、ご協力に對しまして心より御礼申し上げます。

さて今冬は、12 月から 1 月初めにかけて強い寒気が南下した影響で全国的に寒かったのですが、1 月以降は寒気の南下も弱まり、日本海側では雪が少なく暖冬になった模様です。わがふるさと石鳥谷の『たろし滝』も 2 月 11 日を前に崩落により測定不能となり、ちょっと残念な感じが致しましたが、全国的に通期でみれば『この冬はちょっと寒かった』という言葉で気象庁が総括を発表して

おりました。

美しい日本の四季は、メリハリのきいた季節感があってこそのものであり、この『ちょっと寒かった』ぐらいがちょうどいいのかな、などと感じております。

～ 関西岩手県人会だより ～

私は引き続き大阪に単身赴任しておりますが、大阪で生活しはじめてこの春で 5 年目を迎えることになりました。関西岩手県人会にも入会し役員も仰せつかっております。当会は今年で 60 周年を迎えておりまして、2 月 11 日にはリーガロイヤルホテル大阪で記念式典と祝賀会が盛大に執り行われました。今回はその模様をお知らせしたいと思います。

まず次の 3 名の方がご来賓として祝辞を述べられました。

達増 拓也 岩手県知事、森 清範 清水寺貫主、東根 千万億 岩手日報社長。

達増知事からは、東日本大震災の復興状況のご説明と、被災に対する関西岩手県人会からの暖かい支援に深い感謝のお言葉がありました。また 2016 年に開催される岩手国体(2 回目)への県民が思う深い意味づけとたしかな希望について、そ

して大成功に向けた力強いメッセージが寄せられると共に県人会組織への格別の協力要請が表明されました。森貫主は、毎年 12 月 12 日の漢字の日に、京都清水寺で『今年の漢字』を揮毫されている方で、『私は毎年 TV に出ていて有名なんだけど、カメラはいつも私の後ろから映しており、顔が出ない。顔を知った友人などから、お前が書いてんの？』といわれる始末です』などと軽妙なスピーチで笑いを誘い、『アテルイ モシの碑』を代表に、清水寺と岩手の深い絆を披露して下さいました。

東根社長は、北上山地が次世代加速器「国際リニアコライダー」(ILC)の建設候補地に決定したことを、研究キャンパスも東北新幹線沿線が推薦されたことについて、世界の『知』や『人』が岩手に集積されることによる、建設過程や運用段階における経済的、科学教育的、文化的効果は計り知れないものがある。輝かしい岩手の将来が約束される素晴らしいものであるため、是非誘致を成功させたい、と熱く語って下さいました。

その後、祝賀会では北上市出身のマンドリン歌手(フロ)の酒井清心

町人会に想う

似内 常夫

新堀出身

(キヨミ)さん、宮古市出身の小川法子さんのはからいで「民謡唄ばやし西田会」による岩手の民謡など、楽しいアトラクションが上演され華やいだ雰囲気では進行しました。

わが花巻市からは亀澤副市長がご出席されましたので、昨年ご出席頂いた石鳥谷町人会総会・懇親交流会のお礼を申し上げると共に、一緒に写真に納まって頂きました。参加者はご来賓も含め総勢121名でありました。

関西岩手県人会もとても活発に活動しております。この運営状況を参考にさせて頂き、今後の町人会の運営に役立てていきたいと思っております。

引き続き会員の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



亀澤副市長と高橋会長

今年には個人的に事情がありまして町人会への参加を取り止め様と思っ

ていたところに、10月の初めに小中学校の同級生から携帯電話にメールで参加への「打診」がありました。大変迷いましたが一年ぶりに皆様と再会してまた楽しい一日を過ごしたいと思い、出席することにしました。

町人会に初めて参加したのは同級生からの誘いで8年前の平成19年(町人会創立20周年記念)で、出席することを伝えるとすぐに資料を送って頂きました。

「在京石鳥谷町人会」と書かれた封筒を開けましたところ、色々な資料がありました。その中に町人会の会場となっている上野の森の中に近く経った今でも立派な佇まいをした歴史ある建物のようでした。

8年前のあの日(10月28日)の記憶によりますと、天候も良くて上野の中は日曜日と重なり動物園や美術館などを見に来た人、公園内を散歩する多くの人達で賑わっていました。

森の中の道を精養軒方面に歩いていく途中で、偶然にも同会場へ向かう男子同級生3名に会いました。還暦祝いに会って以来2年ぶりの再会を喜び会いながら4名で精養軒へと向かいました。建物の中に入りエレベーターに乗って会場となる3階のフロアーへ行き受付を済ませて、会場の入口で中学校1年後輩の女子役員から「ウエルカムドリンク」を頂き5番テーブルまで案内され、間もなく女子同級生2名も来て、お互いに笑顔を交わし席に着きました。

他の新堀出身の方々も到着されて全員揃いました。やがて総会が始まり町人会会長のご挨拶や総会収支決算等の報告があり、花巻市副市長のふる里石鳥谷の情報や、25名程のご来賓紹介と進み総会が終わりました。

引き続きの懇親会が始まり、灘・越後と並んで酒造りでは日本で3本の指に入る「南部杜氏」の里として知られている美味しいお酒で乾杯に始まり、ふる里石鳥谷リンドウ亭による「ヒッツミ」料理等沢山のご馳走に「ほほ」が緩みっぱなしでした。

とくに会場に臼と杵を持ち込んでのつきたてのお餅は餅好きな私は感激し「アンコ・ゴマ・クルミ」とこ

馳走になりましたが、その中でクルミモチの美味しさは格別でした。同席の皆様や「ふる里」より参加された皆様とお酒を飲み交わし心地よく酔ってしまいました。舞台の方に目をやりますと女性役員のフラダンスや南米民族演奏などに会場は一段と和やかな雰囲気になりました。

町人会会長の掛け声で協賛企業はじめ各方面からの提供による大抽選会が始まり、景品はほとんどの方々が頂きました。大変盛り上がりました。その後参加者全員が会場いっぱい広がり輪をつくり「石鳥谷音頭」を笑顔で楽しそうに踊り、年代の差こそありますが同じふる里で生まれ育った人達がそれぞれの想いを胸に踊る姿に感動しました。

帰りにはお土産を頂きまして有難うございました。その中には小松カツミさん(93歳)から寄贈して頂いた「きんちゃく」もありまして感激しました。

あの感動を頂いて以来毎年続けて同級生や町人会の会員の皆様や、この日の為に朝早くにふる里を出て参加して下さった皆様との再会を楽しみに出席してきました。又この町人会には長年暮らしている都会生活の中で失われつつある心温まる「人情」

があり、皆様との再会によって「元氣」を頂き、明日への「活力」として来ました。この様な素晴らしい会に出席出来た事の「幸せ」に感謝すると共に今後もしよくお願い致します。最後に町人会会長をはじめ役員の方々、及び各関係者の皆様感謝して深くお礼申し上げます。



新堀地域コミュニティー会議役員・さんさ会の皆さん方と

御礼・石鳥谷町人会様

岩切 悦子

千葉県市原市在住

11月2日(日) 平成26年のカシ

ンダーも残りわずか、上野の桜の枯葉がゆく秋を楽しむように、カサカサ転がり舞う日でした。びっくりするような明るい人々の笑顔の多さに迎えられて、石鳥谷町人会の総会・懇親交流会に参加させて頂きました。私は北上市飯豊町の出身で石鳥谷町人会とはご縁がなかったので、ご招待頂き大変驚きました。

しかし高校同窓会の先輩に石鳥谷町出身の方が多くいらっしやるのでお声を掛けて頂いたのでしょう。そんなよそ者の私は、手作りのあんこ餅、こま餅、くるみ餅、それにさといも・大根など具だくさんのいものこ汁と、笑顔笑顔の温かいおふるまいを受けて、トロトロにとろけてしまいました。

また諸先輩方のフラダンス、民謡、いしどりや祭り中組の方々、の芸能披露など、なつかしさのこもる和気あいあいとしたものでした。

私の高校時代、生徒会長だった「雅ちゃん」は石鳥谷町好地の出身です。今でも年賀状のやりとりをしています。30年以上も書き続けているその土地の住所は雅ちゃんのお笑顔と共に身近かに感じられるものなのです。

しっかり者で、理的で、早く結婚

されて、おうちを継いだということでした。お孫さん達に囲まれてお元気のことと思っています。

最後の空くじなしの「ふるさと特産品抽選会」で、なんと岩手の新米5kgが当たってしまいました。初めての参加なのに何か皆さんに申し訳ないような気持ちでした。

“おなかもちいっぱい” “お土産もいっぱい” 幸せな気分です。帰途につきました。在京石鳥谷町人会の皆様、役員の皆様、本当にありがとうございました。ごちそう様でした。



フラダンスの踊りに会場の雰囲気も和む



八重畑出身の川村さんによる民謡披露



搗きたてのお餅は皆さん方に大好評



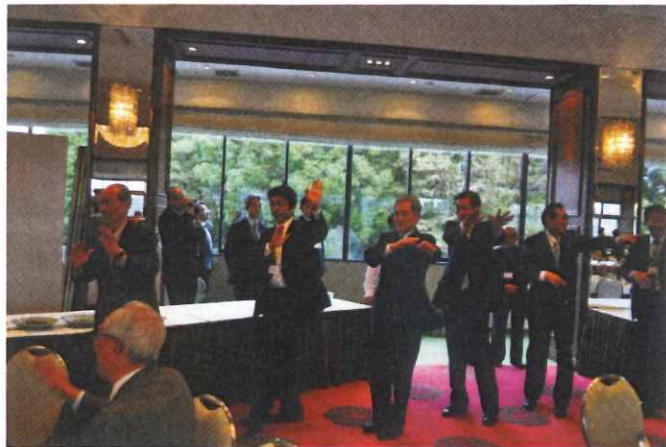
“音頭上げ” と “太鼓の音” に懐かしい「いしどりや祭り」が蘇ってきた



町内各地域出身の皆さん方と記念撮影



ふるさと特産品の大抽選会



全員参加で石鳥谷音頭の踊りを



高橋会長の万歳三唱でお開き



1月24日(土)岩手県人連合会「新春の懇親会」が、日暮里のホテルラングウッドで開催され、各ふるさと会・高校同窓会等150数名の参加でした。

在京石鳥谷町人会からは高橋会長、大竹、河嶋、佐藤(忠男)、川村(三郎)、有田の各氏と飯塚の6名で、花巻人会、大迫人会と同テーブルで

+

新春の懇親会

飯塚 悦子

八幡出身



ふるさとの味 お土産品コーナー

した。

始めにアトラクション、岩手県出身の3名(尺八・琴・十七弦)による邦楽が披露され、3名共国内はもとより海外でも多忙に活躍しておられるとの事。

新春らしい「春の海(宮城道夫作曲)」に始まり3曲が演奏されました。

しみりとおこそかな雰囲気に気が引き締まる思いでした。

その後瀬川会長の挨拶に続き、達増県知事のメッセージがあり、会は進み懇親会に移りアトラクション、歌手三浦わたるによる「啄木哀傷」他が披露されました。各テーブルを回りながら石川啄木の心情を切切と唄い心に響きました。今後の活躍を期待しています。(4年前には福田こうへいが出演)。

顔見知りのふるさと会の方や、初めてお会いする方、名刺の交換や旧交を温めたり、新しいつながりや情報交流等賑やかに開催になりました。

その後は、例のごとく居酒屋へ・・・けっっこういい気分になりました。これもまたお聞き。



岩手県人の集い



三浦わたる
「啄木哀傷」を熱唱

綱引き大会
今年も決勝トーナメント進めず

M K

八幡出身

2015年全日本綱引き選手権大会が3月8日、駒沢オリンピック総合運動場体育館で開催されました。

ふるさと石鳥谷から例年通り女子チームが出場致しました。本年は岩手県大会で優勝出来ず特別予選会からです。

大会出場は男子66チーム・女子30

チーム合計 96 チームで、7 ～ 8 チームの各ブロック毎総当たりの予選リーグからです。

決勝トーナメントに進む為には各ブロックで男子は 1 ～ 2 位、女子は 1 ～ 4 位までに入らなければ進めません。

石鳥谷女子チーム本年選手役員さんは最少必要人数で出場です。在京石鳥谷町人会の応援団も約 10 名 + 選手の友人 5 名程と少し寂しい状況でした。

石鳥谷チームは女子の第 3 ブロックで 7 チーム総当たりで強豪揃いです。結果は残念ながら 4 位迄に入れず予選リーグ敗退です。応援団も声を枯らして？ 頑張りましたが・・・残念。

来年のリベンジを期待したいと思います。



“必勝”を期し応援旗を掲げて



意気を合わせて そ〜れっ イケ・・・!!



選手メンバーと応援団の皆さん

平成26年度 在京石鳥谷町人会総会・親睦交流会収支報告(H26・11・2 単位:円)

収入	支出	残高	備考
710,000			総会参加者91名(同伴含)
351,000			招待者からのお祝い
	1,431,942		総会準備費(案内状・印刷・コピー)、精養軒、他支払
1,061,000	1,431,942	-370,942	

年間の主な行事予定

- ◎ ふるさと復興支援ツアー 5/24(日)～26(火) (花巻～宮古～釜石)
- ◎ 岩手県人の集い 6月7日(日) ホテルラングウッド (日暮里)
- ◎ 都内めぐり 6月14日(日) **神田川クルーズ**
 ～ 日本橋から神田川・隅田川をぐるり一周～
 江戸城の石垣や御茶ノ水・秋葉原を船でめぐる
 見どころ満載の90分クルーズ
 集合場所・時間：日本橋三越デパート本店 ライオン像前・10時
 のりば：日本橋船着場
 会費：約5,000円(乗船料・食事代含む)
 申し込み期限：5月15日(金)
 ※雨天等で乗船出来ない場合、日本橋界わいの散策コースに切り替えます
 問い合わせ・佐藤忠男(090)3240-5821
- ◎ 石鳥谷夢まつり 8月13日(木)
- ◎ 在京石鳥谷町人会総会・親睦交流会
 11月1日(日) (上野精養軒)

在京石鳥谷町人会の
ホームページ

在京石鳥谷町人会で検索できます。是非ご覧ください。
皆様のご意見(掲載したい情報)をお寄せ下さい。

<http://zaikyoishidoriya.web.fc2.com/>

問い合わせ＝事務局 大竹

maoh154124@gmail.com